

Ⅲ 特集：第5回食育活動表彰について

全国各地で農林漁業、食品製造・販売等その他の事業活動、教育活動又はボランティア活動を通じて、食育の推進に取り組む者の功績を称えるとともに、その取組の内容を広く周知し、食育を推進する優れた取組が全国に展開していくことを目的として、2016年以降、毎年農林水産省が表彰しており、その年の食育推進全国大会において、表彰式や事例発表会が行われています。

2021年に発表があった第5回表彰では、「東海市健康づくり食生活改善協議会」が消費・安全局長賞を受賞しましたので、活動内容について紹介します。

食育活動表彰の詳細については、農林水産省のホームページを参考にしてください。

(<https://www.maff.go.jp/j/syokuiku/hyousyo/index.html>)

ボランティア部門
(食生活改善推進員の部)

消費・安全局長賞

東海市健康づくり食生活改善協議会 (東海市)

とまと記念館で「健康メニュー」を提供
地域に根ざした食育活動の推進

◆活動内容

東海市健康づくり食生活改善協議会は、1990年に設立され、食を通じた市民の健康づくりの支援を目的に、イベントや地域での料理教室などを開催し、普及・啓発活動を行っています。

設立当初は、東海市で生産されるふきや玉ねぎのレシピ開発、箱寿司、おこしものなど、地域の食文化の継承等を中心に食育活動を推進していましたが、2012年の国民健康・栄養調査で愛知県の野菜摂取量が最下位だったことや、東海市が「カゴメ株式会社」発祥の地であるという歴史的背景をきっかけに、トマトが健康に効果的な野菜であることを踏まえ、「東海市トマトで健康づくり条例」を制定しました。このため、協議会でもトマトのメニュー開発に力を入れ、野菜摂取量向上に取り組んでいます。

2014年度からは、食の活動拠点と位置づけている「とまと記念館」において、「トマトの健康プロジェクト」の一環として、トマトを使った健康ランチを市民に提供しています。とまと記念館の料理は、東海市認定健康メニューの基準を満たしているものを提供しており、全てトマトジュースの乾杯付きとなっています。

また、この他の活動として、小学生と簡単おやつ作り、高校生への朝ご飯教室、社会人向けには、時短メニューを紹介する健康料理教室を開催するなど、ライフステージに応じた食育推進を地域で実施しており、これらの幅広い活動が高く評価され、今回の受賞となりました。



レストランでの接客の様子



高校生への朝ご飯教室の様子